

柵津地域づくりの会

No.16

—発行—
柵津地域づくりの会
事務局
東御市柵津 917-4
柵津公民館内
TEL・FAX: 62-0251

—印刷—
あさま印刷

会長あいさつ

別府英宣

新型コロナウイルスで始まった2020年でした。毎日感染状況に関心を寄せ、生活にも変化が生じてきたこの頃です。

柵津地域づくりの会では、2年ごとの役員改選により新役員を迎えスタートしました。新型コロナウイルスの影響で総会は書面で行われ、初めから士気をそがれるような感じでした。コロナ禍はなかなか収束が見られず、例年行われていた、催しの際の柵津煎餅焼き、サーブエリアでの農産物直売、小学生の方言カルタ大会などが軒並み中止に追い込まれました。そんな中でも出来た活動もあります。健康ウォーキング、史跡めぐ

り、小学校の柵津煎餅の学習支援などです。来年度はコロナの収束次第ですが、諸活動が滞りなくできることを願うばかりです。

話を転じますが、御堂地区のワインブドウ畑の工事も今年度で終了予定です。植え付けも順調に進んでいるようです。柵津地区の活性化にとって重要な地域です。皆さんが関わりをもつて盛り上げられるよう知恵を絞っていきたいと思います。良いアイデアをお持ちの方は是非ご意見をお聞かせください。

令和2～3年度役員

会長 別府英宣(西宮)

副会長(区長会長) 平林 修 (R2 藤井自治)

花岡 高 (R3 出場)

白石三郎(新屋)

岡部由明(柵津南)

副会長

会計

生活福祉部会

部会長

副部会長

副部会長

産業経済部会

部会長

副部会長

副部会長

教育文化部会

部会長

副部会長

副部会長

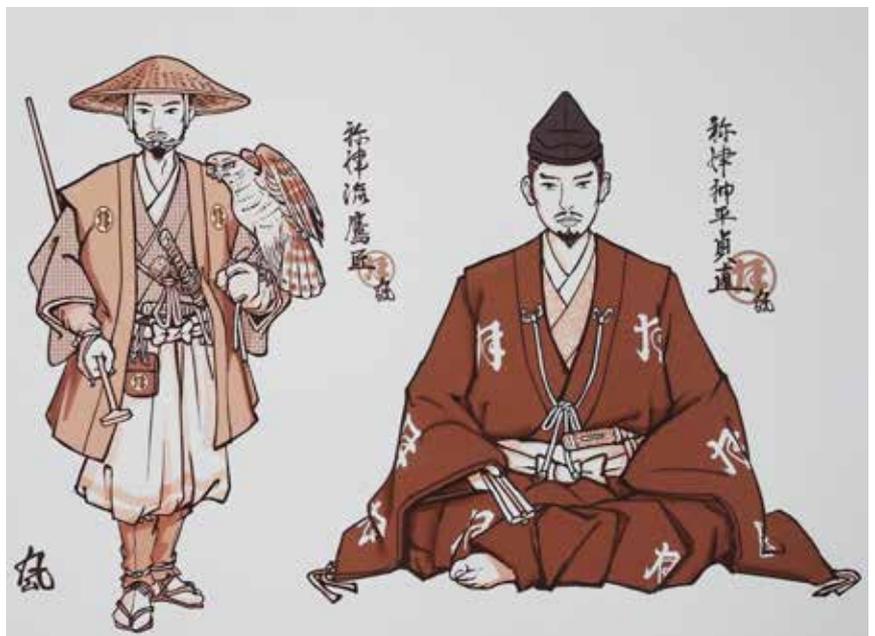
事務局

地域づくり支援員

柵津公民館長

花岡敏道(新屋)

柵津氏想像絵



柵津氏は鷹狩りの名手だったことをご存じでしょうか？柵津氏は滋野氏の流れをくむ海野氏、望月氏と並び中世に活躍した一族ですが、実は鷹狩り「放鷹術」の名手としてその名を馳せていました。

特に平安時代末期から活躍した柵津神平貞直と江戸

時代徳川家康に仕えた柵津松鶴軒は柵津流放鷹術のレジェンドなのです。

このほど、東町の丸山等さんが鷹匠姿と正装の柵津神平貞直の想像絵を描いてくださいました。大鷹を従えた鷹匠の出で立ちが凛々しいですね。



柵津小学校3年生 ハヤシミドリシジミの代わりに アゲハチョウを飼育

柵津小学校3年生は、例年4〜6月に城山に生息するハヤシミドリシジミの飼育観察をしています。新型コロナウイルスのために全国で中学校が休校になってしまったことから楽しみにしていた授業ができなくなっていました。

時たま、柵津公民館の花岡館長がアゲハチョウの蛹を30個あまり持って来たことから、5月の連休には希望児童が自宅へ持ち帰り、羽化した蝶になる様子を観察することにしました。ほとんどの児童は気が付いたらチョウになってしまったようですが、何人かは運良く羽化の様子を観察することができたようです。



でアゲハチョウの授業を開始。ユズの苗木の新芽に産み付けられたアゲハチョウの卵を観察してから、学校での飼育が始まりました。学校応援団の関さんが鉢植えのサンショウを届けてくださり、ローカの隅で放し飼い。アゲハチョウの幼虫たちは葉を食べてすくすくと育ち、ロー

カの天井や窓枠で蛹になって、無事に成虫(蝶)になることができました。児童たちは、幼虫がどんどん大きくなる様子に目を見張り、チョウになって飛び立つと歓声を上げていました。



柵津小学校1・2年生 せせらぎ公園で川遊び!!

「山の子」柵津小児童にも川遊びの楽しさを味わってもらおうと、8月にはせせらぎ親水公園で川遊びの授業が行われることから、地域づくりの会ではPTAや飛翔会と連携して、川遊びに先立って7月に河川清掃をしています。令和2年も7月18日に集まって川をきれいにしましたが、水量が多いため20日の川遊びは延期とな



り、8月になってから1、2年生の川遊びが行われました。8月25日には、待ちに待った2年生がせせらぎ公園に集結。はじめのうちは「つめて〜」と恐る恐るでしたが、次第に本領を発揮し、思い切り川遊びを楽しんでいました。

せせらぎ公園の辺りは、60〜70代にはカジカを突いて遊んだ懐かしい場所。カジカは姿を消しましたが、サワガニやカエルと遊びながら川の楽しさを知り、また気を付けなければいけない事も学んでほしいものです。



健康ポールウォーキング教室

生活福祉部会長 榎原みち代

春からの緊急事態宣言が解除され行事自粛も少し和らいだことから、生活福祉部会では10月10日に出場区々新張区の文化財などを巡る健康ポールウォーキング教室を計画しました。会としても久々の行事で万端の準備をしていたのですが、何と当日は雨！何がいけないのか？天にまで見放された気持ちになりましたが、代わり



に公民館講堂において身体教育医学研究所（通称しんたい）の健康運動指導士横井さんの指導で骨ストレッチ体操を行い、普段なまっていた体を1時間余りほぐしました。この日は、珍しく数人の小学生の参加もあり、参加した20数名の老若男女は「たまには体を動かさなきゃな」と日頃の怠慢の反省しきりでした。



11月1日に烏帽子スカイラン NET'S など実行委員会が実施「柞津の里山を歩こう大会」も同時開催！

柞津地域の青年部たる「ネッツの会」が中心となつて柞津から烏帽子岳への旧登山道を整備し、令和元年にはテストランを行い周到に準備をしてきた烏帽子スカイランが11月1日（日）に実施されました。全国規模の大会のため、コロナ対策には十分な検討をし、過密を避けるためスタート地点を柞津公民館から長命寺大日堂に変更し、30



柞津地域の青年部たる「ネッツの会」が中心となつて柞津から烏帽子岳への旧登山道を整備し、令和元年にはテストランを行い周到に準備をしてきた烏帽子スカイランが11月1日（日）に実施されました。全国規模の大会のため、コロナ対策には十分な検討をし、過密を避けるためスタート地点を柞津公民館から長命寺大日堂に変更し、30秒ごとに2名ずつの時間差スタートとしました。幸いにも好天に恵まれ、全国から参加した200数十名のランナーは、まずは大日堂の急な石段を駆け下りてから御堂、山の神を経て烏帽子山頂に向かつていきました。



また、今回は地元の小中学生を対象に「柞津の里山を歩こう大会」も同時開催。御堂く山の神く鳩峰く城山を巡る8kmの「山の神コース」には数十名の児童が参加。ススキ

を振り回しながら元気いっぱいの子どもたちの後ろから、うつむき加減に付いて行くお母さんの姿が印象的でした。大変お疲れ様でした！なお、スカイランの優勝者は、大日堂く烏帽子岳山頂く烏山林道く城山く大日堂の25kmを何と！2時間余りで走り抜いたとのこと。正に現代の天狗さま（修験者）といったところでしょうか。くれぐれも怪我のないようにと願うばかりです。



裾津史跡巡り 「戌の満水」寛保の大洪水の跡を訪ねて

教育文化部長 野口賢吉

11月8日(日)、天候にも恵まれた暖かな日中に東町から金井方面へ大洪水跡を散策しました。

二百七十八年前の寛保の大洪水、いわゆる「戌の満水」について関連する跡をた

どる企画で、講師に石川好一先生を迎え、25名の参加がありました。裾津公民館を出発し、一行はまず大日堂に向かい、いずれも市指定文化財の



「石尊さまの納め刀」「木造百体観音像」などの説明を受け、ここから東部中学校方面を見下ろして、現在のグリーンパーク沿いの雑木林が大洪水の流れ下った跡地であることを確認しました。

次に、所沢川脇の「八間石」に移動。この巨石は、満水の際に土石流で上流から押し出されて現在の地に留まったとのこと、土石



流のすさまじさを感じました。続いて犠牲者を弔い雨乞いをする火祭り場、洪水の難を逃れた薬師如来を納めた薬師堂に立ち寄り、公民館近

くの洪水犠牲者を弔う「一切流死合霊供養塔」では皆で線香を上げました。今でも金井区では節目の年に供養祭が行われているとのこと、その後は西に向かつて「かんかん塚古墳」に寄り道し、



最後に中央公園にある「金井村跡碑」で、ここが流出以前の村落跡であり、多くの被害者を出した洪水後に現在の位置に移って集落を再興した住民の復興団結力が並大

抵ではなかったことに参加者からは感嘆の声が上がりました。大洪水の跡地を巡ることで大変興味深い歴史探訪ができた一日でした。

公共交通懇談会 11月25日(水)に開催

東御市が運行しているデマンド交通「とうみレッツ号」と定時定路線バス利用者が減少していることから、市では巡回EVバス「RIDEN」の実証実験をしつつ現行システムを見直すための懇談会を開催しており、裾津地区では11月25日に公民館で本会役員や各区長を集めて公共交通に関する懇談会が開かれました。「誰もが利用しやすい持続可能な公共交通システム」を目指し、令和4年にかけて市民との懇談会などを続けるとのこと、これに先立つ10月13日の

会議では、裾津地区の重要課題である奈良原から東町、常田を経由する児童生徒の通学バスについて、今後は大型バスからジャンボタクシーにして運行本数を減らし教育委員会が運行を継続するとの説明がありました。





柵津小子ども歌舞伎クラブ
柵津公民館で
「勸進帳」を好演!

例年4月29日に東町日吉神社で開催される柵津東町歌舞伎は柵津の最大行事であり、柵津小子ども歌舞伎公演を楽しみにしている皆さんも多いと思います。

この子ども歌舞伎は、令和元年10月の柵津公民館ふれあい文化祭での公演が台風19号で中止、令和2年の春公演と秋の公民館文化祭もコロナ禍で再び中止になってしまったことから、公民館では子供たちに実演の機会を与えようと、11月29日(日)に予約申込制による人数制



限をしたうえで子ども歌舞伎の単独公演を催しました。

演目は、おなじみの「勸進帳」。兄頼朝に追われた源義経一行が奥州に向かう安宅関で関守に詰問されるも武蔵坊弁慶の「東大寺の勸進」であるとの機転により助かるという物語で、子供たちは校内発表会に続く二度目の公演でしたが、実に堂々と演じ切りました。関守富樫や弁慶が見得を切る見せ場では集まった多くの観客からたくさんのおひねりが飛び交いました。



柵津公民館
作品展示



公民館の文化祭が中止になったため、生涯学習講座など公民館利用者の皆さんへの作品発表の場として、昨年12月から3月まで各団体が1〜2週間交替で成果を発表する作品展示会を開催。

東御美術会、やさしい水彩画教室、彩明会、水仙の会の皆さんが水彩画各10点ほどを飾り、体操や会議で公民館を訪れた方の目を楽しませてくれました。

柵津小学校2年生 「せんべい探検隊」 柵津名勝十二景を訪ねて

せんべい探検隊？つて何？と思った方も多いことでしょう。これは、柵津小学校2年生たちが、昭和初期に柵津の湊屋菓子店が発売して好評を博した「柵津煎餅」の図案に描かれた柵津名勝十二景を訪ねることで郷土

の名所や歴史を学ぶという、ふるさと学習なのです。当時、この十二景を選定して描いたのは郷土の水彩画家丸山晚霞先生で、「柵津鉦泉の鶯」など今は幻になつてしまったものや「烏岳の鈴蘭」など行き難い場所もある



ため、授業では半日で歩いて訪ねることができると新屋「七都石社頭の涼風」、東町「長命寺前の垂桜」、西宮「御姫苑の紅葉」「神樹権の木ノ雪」などを3回に分けて訪ね、西宮の定津院では座禅も体験。最後の12月8日には家庭科室で晚霞記念館佐藤館長の



指導で復刻されたせんべい焼きに挑戦しました。はじめの内は要領を得ずに鑄型に流し入れた材料をこぼしてしまったりしていましたが、三度目には慣れてきて上手に焼けるようになり、煎餅の素朴な味を楽しんでいました。

コロナ禍に振り回されて地域活動が滞った一年でした。大人はともかく、子供にとっては掛け替えのない一年。小学生の行事とその支援がいくつかできてほっとしました。
(支援員 花岡)

編集後記

柵津地域づくりの会 出版物紹介



■柵津里山樹木・草花ガイドブック
(令和元年度)
無料で頒布 (柵津公民館)

■ふるさとを語り継ぐ 柵津誌
(平成24年度)
単価2,000円 (JA柵津店)

■柵津ガイドブック
(平成28年度)



■柵津方言カルタおらほ
(令和2年度)
単価500円 (柵津公民館)

